

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	②-1	実施計画番号	1	事業開始年度	17
事務事業名	環境保全団体への支援			事業終了年度	28
担当課名	まちづくり支援課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	自然環境の保全に対する市民への啓発と、奥入瀬川クリーン対策協議会、十和田市名水保全対策協議会が実施する保全・啓発活動への支援を行う。				
事務事業の目的	環境保全団体への支援を通じ、自然保護に対する意識の高揚を図り、自然環境の保全に努める。				
実施状況	①奥入瀬川クリーン作戦参加者数850名(H26)、750名(H27) ②5ヶ所の名水について、水質検査を6回実施(H26)、6回実施見込(H27)				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	2	2	2
	活動日数(日)	20	20	20
	人件費(千円)	1,440	1,440	1,440
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)	2	3	3
	活動日数(日)	20	20	20
期間業務職員	人件費(千円)	236	354	354

【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		195	195	195

【指標】

活動指標	活動指標名①		奥入瀬川クリーン作戦の実施回数			
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		回	1	1	1	
	活動指標名②		名水地(5ヶ所)の環境整備作業日数			
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		日	60	60	60	
成果指標	成果指標名①		奥入瀬川クリーン作戦の参加者数			
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		人	目標値	1,000	1,000	1,000
			実績値	850	750	1,000
			達成度(%)	85%	75%	100%
	成果指標名②		名水地(5ヶ所)の苦情件数			
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		件	目標値	0	0	
	実績値		0	0		
	達成度(%)		100%	100%		

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	①	市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A 2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・環境保全の重要性は年々高くなっており、行政として率先して環境保全に取り組み、併せて市民の意識高揚を図る必要性があることから、妥当であると考え。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	・環境保全の重要性は年々高くなっており、行政として率先して環境保全に取り組み、併せて市民の意識高揚を図る必要性があることから、妥当であると考え。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
・環境保全の重要性は年々高くなっており、行政として率先して環境保全に取り組み、併せて市民の意識高揚を図る必要性があることから、妥当であると考え。										
②	実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A 2							
有効性	③	活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A 2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">2 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・奥入瀬川クリーン作戦の参加者数は目標値に達していないことから、実施内容や周知方法について検討の余地があると思われる。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	2 / 6	・奥入瀬川クリーン作戦の参加者数は目標値に達していないことから、実施内容や周知方法について検討の余地があると思われる。	
	成果向上の余地	2 / 6								
	・奥入瀬川クリーン作戦の参加者数は目標値に達していないことから、実施内容や周知方法について検討の余地があると思われる。									
④	成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B 1							
⑤	事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B 1							
効率性	⑥	事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">奥入瀬川クリーン作戦は、多数の民間協賛団体の支援のもと、市民団体が中心となって開催しており、市としては最小限のコストで意識啓発事業が開催できている。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	奥入瀬川クリーン作戦は、多数の民間協賛団体の支援のもと、市民団体が中心となって開催しており、市としては最小限のコストで意識啓発事業が開催できている。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	奥入瀬川クリーン作戦は、多数の民間協賛団体の支援のもと、市民団体が中心となって開催しており、市としては最小限のコストで意識啓発事業が開催できている。									
⑦	他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2							
⑧	民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2							
公平性	⑨	受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A 2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">奥入瀬川及び名水地は市民共有の財産であり、その環境を保全することは、市民全体の利益になる。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	奥入瀬川及び名水地は市民共有の財産であり、その環境を保全することは、市民全体の利益になる。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
奥入瀬川及び名水地は市民共有の財産であり、その環境を保全することは、市民全体の利益になる。										
⑩	受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A 2							
現在の適性					18 / 20	改善の余地	2 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **18** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **2** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

有効性を改善して継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

事業の妥当性、効率性、公平性は適正であるが、目標値を達成するよう有効性を改善するよう検証しながら事業を継続していく。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

奥入瀬川クリーン作戦は、より多くの市民が参加できるよう事業内容について連携団体と協議し、環境保全への更なる意識高揚を図る。